

## 平成 19 年第 2 回 札幌市環境プラザの運営に関する懇談会報告

開催日：平成 19 年 7 月 2 日（月）19：00～21：15

場所：札幌市環境プラザ環境研修室 1， 2

参加者 22 名（（財）札幌市青少年女性活動協会より 7 名、札幌市より 2 名の出席を含む）

進行 懇談会幹事 丸山

記録 懇談会幹事 岡崎

○懇談会は、次のような位置づけで、行いました。（案内チラシより抜粋）

「環境プラザの運営に関する懇談会」は、お茶をいただきながら気軽に環境プラザの運営に関しての意見を話し合う場です。札幌市の環境教育の拠点として位置づけられている環境プラザが、市民にとって、また、札幌市の環境保全活動の推進にとって、より役立つ場となるよう、参加者の皆さんと一緒に考えるための機会です。今回は、この懇談会の運営をサポートしている幹事会のメンバーの追加選出も行ないます。

○話題は次の 3 点でした。

### 1. 環境プラザを取り巻く活動や仲間を知る

(1) 札幌市で予定している環境プラザを活用した事業について・・・推進課 吉津智史係長

環境プラザは、札幌市の施設であるが、実際の運営には、指定管理者である（財）札幌市青少年女性活動協会があたっている。札幌市の今年度の環境プラザに関連した事業予定として、環境関連施設（環境プラザ、円山動物園、リサイクルプラザ、豊平川さげ科学館、青少年科学館、水道記念館、下水道科学館 etc）をつないで活用する事業を計画中。（配布資料：「札幌市環境教育基本方針（2007 年 3 月改訂版）」

例）ワークブックの付いたスタンプ帳など

Q 各施設間の情報共有・交流は、行われているのか？

→A 顔を合わせる機会は、不定期に持っている。今後、力を入れていく。

(2) ECO てーるの活動について 藤原哲朗さん

「リメイクから地域に眠る資源の循環利用と有効活用事業を進めたい！」と、豊平区のリメイク教室・ショップ「ECO てーる」を拠点に活動中。利用者は、主として、65～90 歳の方達、その内、よく利用してくださるのは 20 名程度。また、その中から、リメイクボランティアやショップボランティアとして、それぞれ 4～5 名が教室やショップの運営に関わっている。「技術を育てる」「技術を伝える」が目的で、まだ、ボランティアベースの段階だが、次年度は、「エココミュニティビジネス」にしていきたい。

事業には、行政の補助金をもらっているが、視察等に来てくれることはないので、ぜひ、見に来て欲しいと思っている。

リメイクコンテストの審査会や、その後の交流会（車座トーク）で、環境プラザを利用した。これは、環境活動アナウンスというプラザの企画で、こちらの名前が主催として出るものではなかったが、成果はあったと考えている。今後は、リメイカー間の素材交換「ばくる市」も計画中。

(3) 札幌市環境プラザの活動について 札幌市環境プラザ 事業主査 高森美希子さん

- ・札幌市環境プラザでは、市内を対象としたアドバイザーやリーダーの派遣、子どもエコクラブの活動支援など、とプラザを拠点とした事業を行っている。
- ・プラザを会場とした事業としては、キャンドルナイト関連企画、環境ポイントセミナーを行っているほか、今年度は、市民活動の支援も目的とした「市民連携企画」（団体紹介、啓発展示物作成、事業企画・運営）を実施予定。活動団体の特性、経験を生かしたパネル展や様々な専門分野の知識を有する団体の企画を募集し、市民のニーズに沿った事業展開を行っている。

2. 懇談会からの意見を環境プラザ運営に確実に反映させるため

\*環境プラザの運営について、公式に協議する場合は、札幌市環境活動推進会議。その会議に、懇談会から2名の委員を送ることになっている。8月が、その推進会議委員の改選期。よって、その選出が必要。

\*懇談会で話されたことを、広く知らせるために、札幌市環境プラザのホームページに議事録をPDFで掲載していただいているが、写真などを掲載して、もう少しわかりやすく、知らせられるページも検討したい。

→札幌広域圏組合のコミュサポのホームページは、写真も載せられ、操作も簡単。無料。

→ただし、構成員が10名以上必要。

→現在の幹事は、7名で足りない。

→幹事会の規約では、幹事も今年度が改選時期。これまで代表・副代表が未選出であった。

ということで、まず、幹事の選出を行い、次の方が、選出されました。

池田誠、岡崎朱実、新保留美子、高氏明雄、中西實代子、松岡英一、丸山博子（以上、旧幹事）、秋田隆志、澤田八郎、田中住幸

幹事会の役割は、下記の通りとなります。

- (1) 懇談会の日程やテーマを決める
- (2) 指定管理者への参加依頼
- (3) 懇談会出席者の募集
- (4) 懇談会の運営
- (5) 懇談会議事録・報告の作成 →推進会議での報告、HPでの報告

また、推進会議委員として、田中住幸さんと岡崎朱実が選出されました。

3. 環境プラザの課題を市民の力で解決へと進めるために

◎環境プラザの課題 高森美希子さんより

- (1) 環境プラザを知ってもらうための働きかけが必要で、様々な工夫や試みを行っているが、あまり効果があがっていない。見学以外での来館者が少なく特に土曜日の来館者が少ない。子ども達にもっと環境プラザに足を運んでもらうための工夫が必要。

- (2) 講座の参加者が少ない。なぜ参加者が思うように集まらないか検証中だが、理由の特定ができていない。今後どうやって、ニーズを探っていくかが課題。
- (3) 昨年、教職員の方を対象とした事業を実施した結果、環境プラザを知っていただき、利用していただく機会が、徐々にではあるが、増えてきた。また、学校の見学も増えてきているが、さらに多くの教職員の方々に、環境プラザを知っていただくことが必要だと考えている。

◎参加者からのアドバイスなど

- ・活動実施は施設内に限定する必要はないのでは？環境プラザの周辺の街路樹散策など、企画は、いくらでも可能。
- ・企画作りから市民と一緒に進めることが大切では。しかも、身近に、消費者協会や、プラザを利用している団体など、協力してもらえるところはいくらでもあるはず。まず、身近なところから、相談しては？
- ・キャンドルナイトで、環境プラザがキャンドルの配布場所となったことにより、新たな来館のきっかけとなったし、環境プラザのことを知ってもらう機会となった。
- ・「環境は大切」だけではダメで、もっと工夫しなければいけない。
- ・アーススタジオの貸出しをして、市民などの情報提供の場としてはどうか？
- ・子どもエコクラブを全ての児童会館に立ち上げてはどうか？エコクラブの活動メニューの提案も可能。
- ・環境プラザにあるパソコンについて。現在、自由に使えないようになっているが、不適切なサイトにアクセスできないようなソフトがあるので、それを導入して、もっと自由に使えるようにしてはどうか？
- ・2階の市民活動サポートセンターなどとの連携を、もっと深めたらどうか？
- ・懇談会発の事業も企画したら良いのでは？